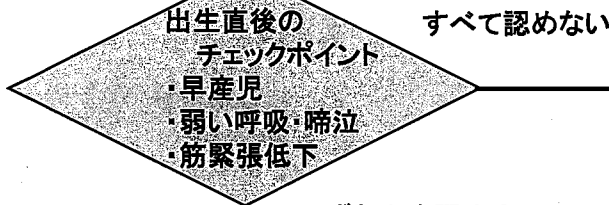


チームメンバーによるブリーフィング、
感染予防、物品の確認

出生

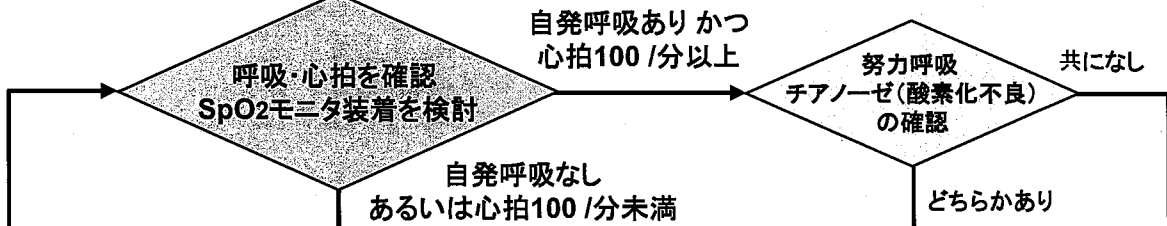


目標SpO ₂ 値	
経過時間	SpO ₂ 値
1分	60%以上
3分	70%以上
5分	80%以上
10分	90%以上

保温、体位保持、気道開通
(胎便除去を含む) 皮膚乾燥と刺激

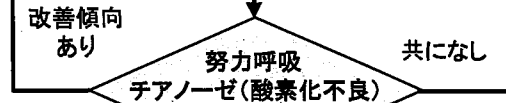
ルーチンケア
(母親の側で)
保温
気道開通
皮膚乾燥
更なる評価

体温維持
60秒以内



人工呼吸 (a)
SpO₂モニタ装着
ECGモニタ装着を検討

SpO₂モニタ装着し
必要時CPAPまたは酸素投与

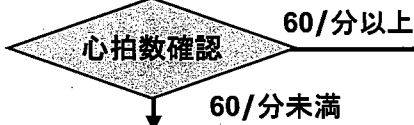


換気が適切か必ず確認
気管挿管を検討 (b)

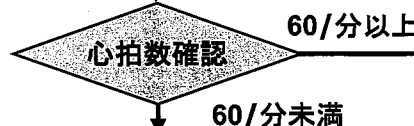
人工呼吸 (+酸素) と胸骨圧迫 (1:3) (c)

原因検索を行いながら
・努力呼吸と酸素化不良が共に続く場合は人工呼吸を検討
・酸素化不良のみ続く場合はチアノーゼ性心疾患を鑑別

蘇生後のケア
・注意深く呼吸観察を継続



アドレナリンの投与を検討



人工呼吸と胸骨圧迫に加え以下の実施を検討
・原因検索
・生理食塩水 (出血が疑われる場合)
心拍 60 /分以上に回復したら人工呼吸へ戻る

- (a) 心拍またはSpO₂値の改善がなければ酸素を追加・増量する。
- (b) 適切に換気できていない場合は、すぐに胸骨圧迫に進まず、まずは有効な換気の確保に努める。
- (c) 人工呼吸と胸骨圧迫：1分間では人工呼吸30回と胸骨圧迫90回となる。